

## 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール

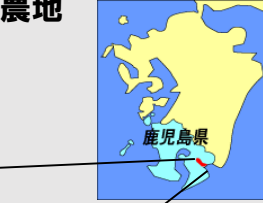


### 自治体の概要

温暖多照な気候と広大な農地

面積: 100.67km<sup>2</sup>

人口: 約1万3千人



分別収集所の様子

資源リサイクル率

12年連続日本一

### 今後のビジョン・計画

「世界の人口一万人地域で応用可能な循環型地域経営モデル確立」

- ・ 持続可能な資源を循環型活用する地域経営モデル
- ・ 自ら課題解決するコミュニティによる地域経営モデル
- ・ 低コストで住民参加型の世界に应用可能な地域経営モデル



インドネシアでの分別収集技術指導の様子

## SDGsに関する特徴的な取組

「使い捨て容器の完全撤廃, 脱プラスチック実現」のため,  
多様なステークホルダーと大崎町SDGs推進協議会を設立



(参画団体)

- ・ 大崎町
- ・ (株)南日本放送
- ・ 鹿兒島相互信用金庫
- ・ (株)そらのまち
- ・ 合作(株)



未来の大崎町ビジョンマップ

○ 大崎町の掲げるSDGs未来都市計画の実現に向け、3つの事業を柱に活動を展開

- ① 企業版ふるさと納税に加え、企業の研究者や人材を受け入れ、新たな社会システムの構築に取り組む「ジャパンSDGsラボ(仮称)」を設立
- ② 循環型社会に求められる人材を育成する「SDGs教育プログラム」を構築
- ③ 資源リサイクル率12年連続日本一の町の知見を知る「視察研修ビジネス」を展開



設立合同記者発表の様子